

開発システム工学コロキウム 報告会プレゼンテーションの留意点

高田潤一

takada@ide.titech.ac.jp

2009年12月16日



報告会

- 最低限のルールとスキルを身に付ける
 - 聞く人の立場になって考える
- プレゼンテーション技術はこれからずっと役に立つ
 - フィールドワークの発表はうまくできたか？
 - 卒業論文発表は第一関門

時間

- 発表時刻に遅れないことは大原則
- 与えられた制限時間を守ろう
 - 特にグループ発表では一人の持ち時間が短い
 - 与えられた時間に適切な分量を
 - リハーサルはしたか？
 - 制限時間を過ぎると聴衆の注意力が低下

媒体の統一

- OHPは使わずPCで統一
 - スキャナやデジカメを利用してデジタル化
- 見た目の統一感是大切
 - ファイルは1個・デザインは統一
- ファイルコピーのロス時間
 - 機種によってはPCの再起動が必要
 - PCを持参しない場合、発表会開始前にコピー完了
 - PCを持参する場合、開始前に映像が正常であることを確認

媒体の統一

- ソフトウェアの互換性
 - 標準でないフォントや動画を使用する場合は自分のPCを使用すること
 - PowerPoint 2003と2007の非互換性: フォントとUI

媒体に合った情報量

- 適切な文字・図の大きさ
 - 見えなければ出す意味はない
 - PCプロジェクタの方が解像度が低い(1024x768)
 - 色使いにも注意
- 説明しないものは見せない
 - 講演者には気休めでも聴衆には迷惑
 - 質問される可能性のあるデータは
バックアップスライドとして用意

文字が小さい場合

平成22年度日本学生支援機構留学生交流支援制度(長期派遣)による派遣学生の募集について

1. 趣旨

留学生交流支援制度(長期派遣)によって海外の大学にて学位取得を目指す学生を募集します。

本制度は諸外国に所在する大学へ留学する日本人学生等に対し、独立行政法人日本学生支援機構が、教育研究活動に必要な経費を支援することにより、留学生交流の一層の拡充を図り、我が国と諸外国との相互理解と友好親善を増進するとともに、国際的にも指導的立場で活躍できる優秀な人材の育成及び我が国の国際化・国際競争力強化に資することを目的としています。

2. 定義

以下でいう「長期派遣留学生」とは、修士又は博士の学位を取得するために留学(ダブルディグリー・プログラム等の複数学位制度による留学を含む。)する日本人学生等で、留学先大学における学位取得のための正式な教育課程の間、本制度により教育研究活動に対する支援を受ける者をいう。

3. 支援内容

(1)対象分野

留学先大学で「修士」又は「博士」の学位取得が可能な芸術の実技分野を除く分野。

応募者は「修士」又は「博士」のいずれか一つを選択して出願すること。

(2)対象国(地域)

(1)について学位取得可能な大学を有する諸外国(地域)。

(3)支援期間

単年度毎に奨学金及び授業料(以下「奨学金等」という。)を支給する。ただし、取組の内容等を考慮し、「修士」の学位取得を目的とするコースは2年以内、「博士」の学位取得を目的とするコースは原則3年を限度として更新することができる。なお、支援期間中は、他の奨学金等の併給は認めない。

(4)奨学金月額

月額102,000円～170,000円の奨学金※留学先地域により支給金額は異なる。詳細は別紙参照。

(5)授業料(保険料等の各種経費は除く。)

3,000,000円を上限とする授業料実費額。ただし採用状況によっては予算の範囲内で削減することがある。

4. 留学開始時期

長期派遣留学生は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの間に、留学先大学が所在する諸外国(地域)において、学位取得のための正式な教育課程での教育研究活動を開始するものとする。ただし、正式な教育課程での教育研究活動開始前の語学研修期間等は支援期間には含めない。



文字サイズが適正な場合

平成22年度日本学生支援機構留学生交流支援制度(長期派遣)による派遣学生の募集について

1. 趣旨

留学生交流支援制度(長期派遣)によって海外の大学にて学位取得を目指す学生を募集します。

本制度は諸外国に所在する大学へ留学する日本人学生等に対し、独立行政法人日本学生支援機構が、教育研究活動に必要な経費を支援することにより、留学生交流の一層の拡充を図り、...

文字の大きさ

- なるべくデフォルトの設定を使う
 - 見やすい大きさ: 日本語では24ポイント以上
- 文字が大きければ字数に制限
 - 冗長な言い回しは避ける
 - 説明しないことは書かない
 - バックアップスライドの作成

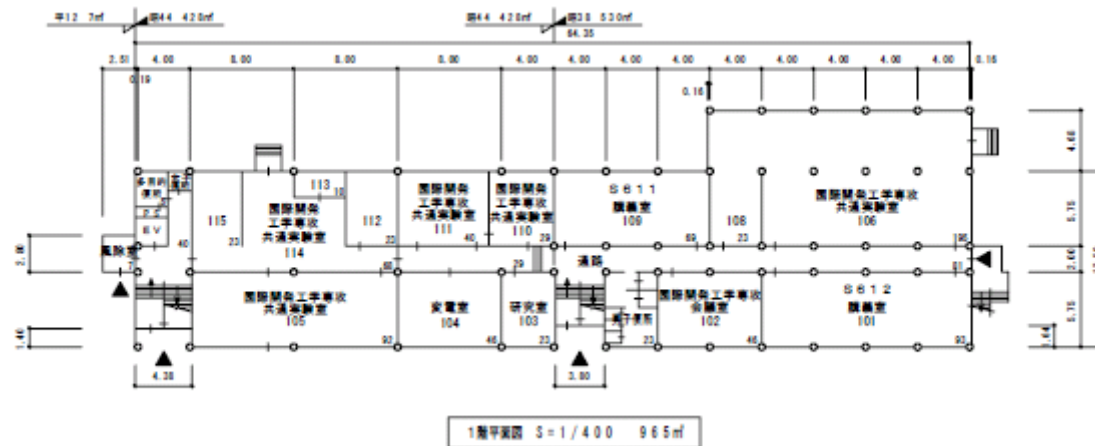
詳しい表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	2	4	7	11	16	22	29	37	46
2	4	8	15	26	42	64	93	130	176
3	7	15	30	56	98	162	255	385	561
4	11	26	56	112	210	372	627	1012	1573
5	16	42	98	210	420	792	1419	2431	4004
6	22	64	162	372	792	1584	3003	5434	9438
7	29	93	255	627	1419	3003	6006	11440	20878
8	37	130	385	1012	2431	5434	11440	22880	43758
9	46	176	561	1573	4004	9438	20878	43758	87516
10	56	232	793	2366	6370	15808	36686	80444	167960
11	67	299	1092	3458	9828	25636	62322	142766	310726
12	79	378	1470	4928	14756	40392	102714	245480	556206
13	92	470	1940	6868	21624	62016	164730	410210	966416
14	106	576	2516	9384	31008	93024	257754	667964	1634380
15	121	697	3213	12597	43605	136629	394383	1062347	2696727
16	137	834	4047	16644	60249	196878	591261	1653608	4350335
17	154	988	5035	21679	81928	278806	870067	2523675	6874010
18	172	1160	6195	27874	109802	388608	1258675	3782350	10656360
19	191	1351	7546	35420	145222	533830	1792505	5574855	16231215
20	211	1562	9108	44528	189750	723580	2516085	8090940	24322155
21	232	1794	10902	55430	245180	968760	3484845	11575785	35897940
22	254	2048	12950	68380	313560	1282320	4767165	16342950	52240890
23	277	2325	15275	83655	397215	1679535	6446700	22789650	75030540
24	301	2626	17901	101556	498771	2178306	8625006	31414656	106445196
25	326	2952	20853	122409	621180	2799486	11424492	42839148	149284344
26	352	3304	24157	146566	767746	3567232	14991724	57830872	207115216
27	379	3683	27840	174406	942152	4509384	19501108	77331980	284447196
28	407	4090	31930	206336	1148488	5657872	25158980	102490960	386938156

詳しい表

- グラフ化できないか考えてみる
- 特に主張したいデータを選んで提示する

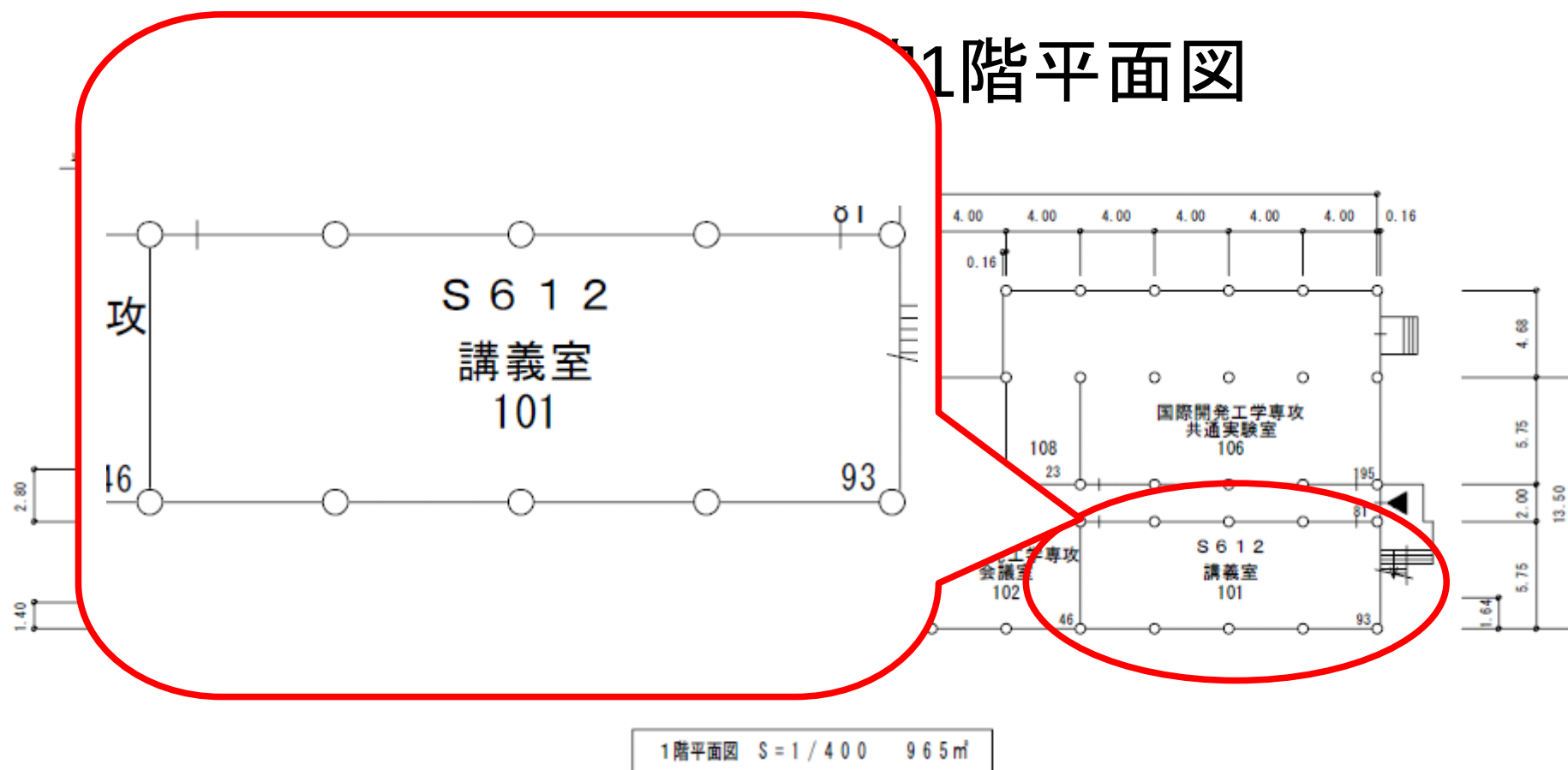
細かい図面



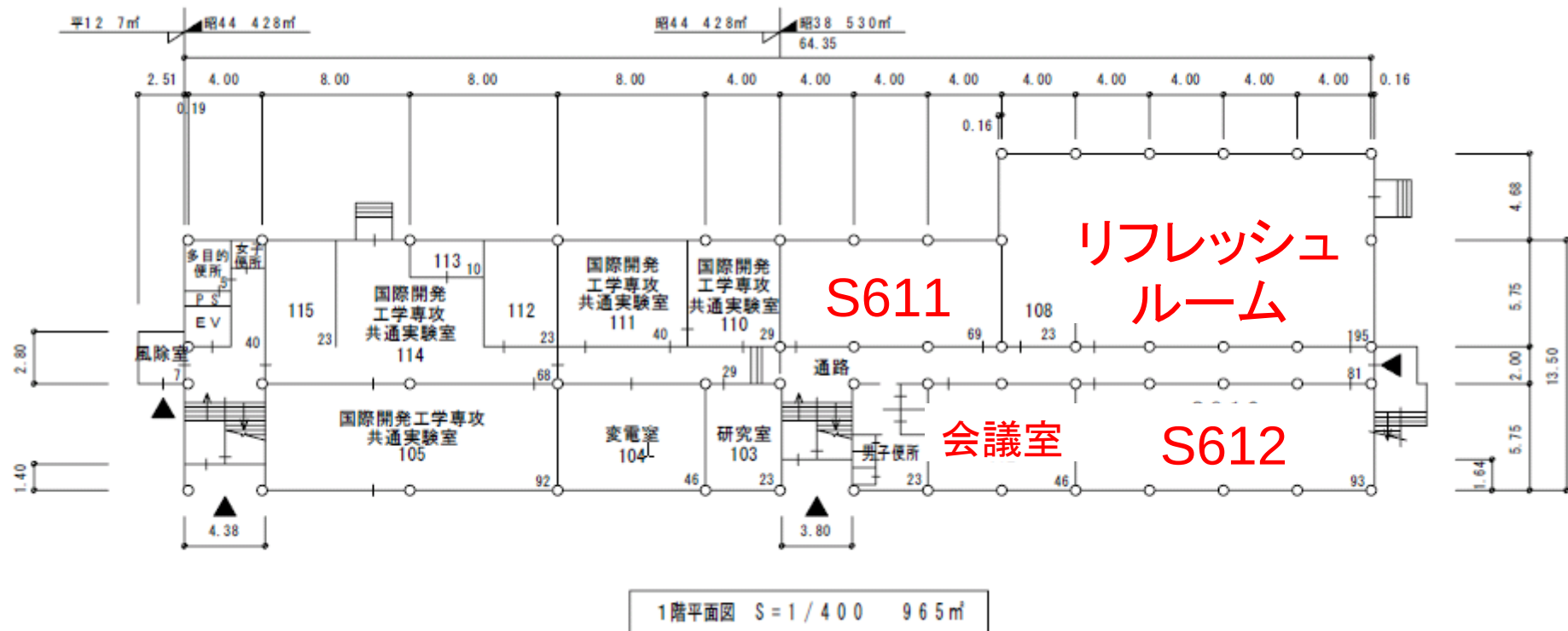
細かい図面

- 特に製図した図面は要注意
 - 手書きでもCADでもそのままでは線が細すぎる
- 見せたいところは拡大
 - アニメーションを使うのも効果的

細かい図面の見せ方



細かい図面の見せ方



せめて文字だけでも大きく見せる

読みにくい色使い

- 背景の色が濃いとプロジェクタでは見えない

文字に色をつけずに 背景に色をつける

- 文字の色を変える

ディスプレイとプロジェクタの違い

- ディスプレイの方が明るい
 - ディスプレイの方がコントラストが高い
- ⇒ プロジェクタを使用すると より暗くて平坦

ページデザインは統一

- ページ毎にフォントやデザインが違っていると「寄せ集め感」

ページデザインは統一

- ページ毎にフォントやデザインが違うと「寄せ集め感」
- デザインテンプレートを使用する
- マスタページで設定する

ページデザインは統一

- ページ毎にフォントやデザインが違うと「寄せ集め感」
- デザインテンプレートを使用する
 - 背景色には注意

ページデザインは統一

- ページ毎にフォントやデザインが違っていると「寄せ集め感」
- デザインテンプレートを使用する
 - 背景色には注意

スライドの分量

- 発表時間から発表内容を決める
 - 時間に見合った分量～時間内に説明して聴衆に伝わる
 - 全体を並べて重み付け・取捨選択
- スライドの分量
 - 発表内容を過不足なく説明
 - 1ページ当たり30秒以下だと内容は伝わらない

出典

- 他の情報源から図面や写真を引用する場合は必ず出典を明示
 - 脚注^[1]または最終ページ^[2]に表示
- 文献・Webからの丸写しは禁止
 - 自分の言葉で説明しやすいように言い換える

[1] プレゼンテーション – Wikipedia,
<http://ja.wikipedia.org/wiki/プレゼンテーション>

グループ発表

- 特にリハーサルは入念に
 - 全体の所要時間を把握する
 - 無視できない交代時間
 - 互いの内容を知り, 重複・欠落・矛盾のないように
 - 全員で通して練習する

グループ発表

- プレゼンテーションツールに慣れておく
 - メモリからのファイルコピー
 - ファイルを開く
 - ページをめくる
 - ページを探す

発表態度

- 聴衆を見て話す
 - アイコンタクト
 - 「黒板に向かって話している先生」は他人事でない
- ポインタを使う
 - 指し棒でもレーザーポインタでもOK
 - 手で指したり, 影を使ったりしない

発表態度

- 大きな声でゆっくり話す
 - 部屋の大きさに合った声量

報告会

- 報告持ち時間

35分(25分発表, 10分質疑, 交代, 準備含む)

- 物質・エネルギー収支と土木建造物・経済収支をまとめ, 報告持ち時間を考慮してバランスよく発表すること。

- 各メンバーの分担箇所を明示

- 報告会においては全てのメンバーがいずれかの箇所を発表し, 担当箇所の発表の際にまず名前を言うこと。
- 「調査・検討だけ行い発表はしない」ということがないように!

参考文献

- [1] プレゼンテーション – Wikipedia,
<http://ja.wikipedia.org/wiki/プレゼンテーション>
- [2] 高橋メソッド,
<http://www.rubycolor.org/takahashi/>
(本講義では使用していない)
- [3] Dave Paradi, “Five Ways to Transform Your Overloaded Text Slides,”
<http://www.thinkoutsidetheslide.com/articles/transformtextslides.htm>
(本講義のスライドよりさらに高度な技術)